

大崎市



まやまかぐら
真山神楽

^{まやまかぐら}真山神楽は、昭和 45 年（1970）4 月 1 日に、^{くずおかかぐら}葛岡神楽の舞手高橋与一氏から南部神楽の教えを受けて真山神楽保存会を設立して継承されているものです。そのルーツは、明治 16 年栗原郡長崎村（現栗原市一迫）の沖田東之助より^{あかにいだ}赤新田の泉清治が習得し、赤新田、^{まったく}馬館、葛岡地区の人達に伝講された岩手県一関市羽黒直系^{たつこだい}達古袋神楽にあります。これまで、昭和 51 年（1976）に、宮城県青年文化祭に出演し最優秀賞を受賞、岩手県南・宮城県北神楽大会で優勝する等、華々しい成績を修めています。演目には、式五番（^{さんばそう}鶏舞、^{あまのいわと}三番叟、天岩戸入り、天岩戸開き、^{さかきまい}さがり）、^{あべのやすな}榊舞、屋島合戦、曾我兄弟、安部安名、田村一代、魔王祓い等があります。

昭和 47 年（1972）3 月 30 日岩出山町指定無形文化財、平成 18 年（2006）市町村合併により大崎市指定無形民俗文化財に指定されています。

